

① 日本国特許庁(JP)

① 実用新案出願公開

① 公開実用新案公報(U)

昭63-88350

① Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

① 公開 昭和63年(1988)6月8日

A 61 M 25/00

3 3 1

6859-4C

審査請求 未請求 (全2頁)

① 考案の名称 液漏れ防止部材付バルーンカテーテル

① 実 願 昭61-182780

② 出 願 昭61(1986)11月29日

① 考 案 者 鈴木 二郎 宮城県仙台市春日町10-22
 ② 考 案 者 高 橋 明 宮城県仙台市長町南1-9-6
 ③ 考 案 者 浅 井 源 神奈川県藤沢市片瀬360-10, B 506
 ④ 出 願 人 グウコーニング株式会社 神奈川県足柄上郡山北町岸507番地1
 ⑤ 代 理 人 弁理士 大井 正彦

① 実用新案登録請求の範囲

カテーテル本体と、このカテーテル本体の前端に接続して設けた切断性接続部材と、この切断性接続部材の前端に接続して設けたバルーン部と、前記切断性接続部材を切断して前記バルーン部を分離するための切断手段とを有してなるバルーンカテーテルにおいて、

前記バルーン部の後端開口を覆うよう弾性体よりなる液漏れ防止部材を設け、前記カテーテル本体の通路と前記バルーン部の内部空間とを複密に連通させる小径通路部材を、その後端が前記カテーテル本体の前端に固定され、その前端が前記液漏れ防止部材の開口を介して前記バルーン部に複密に突出するよう設けてなり、

前記液漏れ防止部材の開口は、前記小径通路部材の前端が離脱したときには、事実上閉塞される

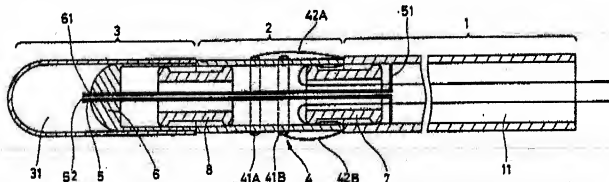
ことを特徴とする液漏れ防止部材付バルーンカテーテル。

図面の簡単な説明

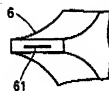
第1図は本考案に係る液漏れ防止部材付バルーンカテーテルの一例ものを概略を示す説明用縦断正面図、第2図および第3図は液漏れ防止部材の他の例を示す説明用斜視図および説明用断面図である。

1……カテーテル本体、11……通路、2……切断性接続部材、3……バルーン部、31……内部空間、4……切断手段、41A、41B……リッド状電極、42A、42B……リード線、5……小径通路部材、51……後端、52……前端、6……液漏れ防止部材、61……開口、7、8……コネクター。

第1図



第 2 図



第 3 図

